

オールセラミック比較表

★が多い程安価

2018/7作成

補綴名	適用症例	透明感	強度(※1)	価格面	メタルコア・変色歯台	セメント(※2)	支台歯形成	特徴
ジルコニアボンド 	前歯・臼歯 単冠・連結・Br 2歯欠損までのフルブリッジ	★★★★★	フレーム ★★★★★ 陶材部 ★★★	★★	◎	接着性 レジンセメント	咬合面 2mm 歯頸部 1.5mm	最上位の補綴物。 ジルコニアのフレームの上に陶材を築盛することで、最も天然歯に近い色調を再現できる。曲げ強度の高いジルコニアフレームを使用することで、2歯欠損までのフルブリッジに対応可能。
e-maxクラウン 	前歯・臼歯 単冠・連結(3歯まで) Br(3本まで・大臼歯の ポンティックはNG)	★★★★★	★★★★★	★★★★	△	接着性 レジンセメント	咬合面 2mm 歯頸部 1.5mm	オールセラミックの代表的補綴物。 インゴット自体にシェードが付いている為、より色調の再現が可能であり、ステイニングすることで天然歯に近い色調を再現できる。 前歯部は唇側部に専用の陶材を築盛することでステイン法よりも自然な透明感を再現できる。
HTジルコニアクラウン 	前歯・臼歯 単冠・連結(3歯まで) Br(3本まで・大臼歯の ポンティックはNG)	★★★★	★★★★★	★★★★★	△	接着性 レジンセメント	咬合面 2mm 歯頸部 1.5mm	審美性・強度に優れた補綴物。 透明度の高いジルコニアに浸透型のステインを施すことで、従来のジルコニアよりやや強度は劣るものの、よりシェードの再現が可能である。 基本的に前歯部では唇側に陶材を一層築盛することで、臼歯よりも透明感を増加することができる。
マルチレイヤード ジルコニアクラウン 	前歯・臼歯 単冠・連結(3歯まで) Br(3本まで・大臼歯の ポンティックはNG)	★★★★ ~ ★★	★★★★★ ~ ★★★★★	★★★★★	○	接着性 レジンセメント	咬合面 2mm 歯頸部 1mm	フルジルコニアでありながら、切縁部から中央部、歯頸部へと透光性の高低をグラデーションで表現した補綴物。 高い曲げ強度(780~1100MPa)により、チッピングの少ない耐久性に優れた材料です。
フルジルコニアクラウン 	臼歯のみ 2歯欠損までのBr	★★	★★★★★	★★★★★	◎	接着性 レジンセメント	咬合面 1.5mm 歯頸部 1mm	高強度で安心感のある補綴物。 適用は臼歯部のみであるが、強度に優れていることで、他のセラミックに比べ破折やチッピングの不安が少ない。 また、表面のステイニングも可能である。
参考)メタルボンド	前歯・臼歯 単冠・連結 ケースにより フルブリッジまで可	★★	★★★★★ 陶材部 ★★★	★★★★	◎	接着性 レジンセメント ガラスイオ ノマーセメント	咬合面 2mm 歯頸部 1.5mm	フレームをメタル(プレシャスまたはセミプレシャス)で製作し、その上に陶材を焼き付けて製作する。今まで自費技工の代表的な補綴物であるが、メタルを使用する為、オールセラミックに比べ透明感が劣ることや、歯肉やマージン付近が黒く見えるいわゆるブラックマージンが起こることがある。 また、料金も金属価格変動による影響を受ける。

※1 強度については、曲げ強度での評価。

ジルコニアボンドフレーム、フルジルコニアクラウン:1300MP HTジルコニアクラウン:650~900MP マルチレイヤードジルコニアクラウン:780~1100MP

e-max:400MP ジルコニアボンド陶材部:80MP

※2 補綴物の透光性が高い為、支台歯は天然歯やファイバーコア等がお勧めですが、メタルコアや変色歯の場合、透明感は減少しますがオパーク色のセメントのご使用をお勧めします。